



高齢者の交通事故防止について



1 はじめに

広島県下及び呉警察署管内における交通事故の統計について、高齢者（65歳以上）における交通事故の占める割合が高い傾向にあります。

| 令和7年1月から 6月末現在 | 交通事故発生件数 | 高齢者(65歳以上) 交通事故 |
|-------------------|----------|--------------------|
| 広島県全体 | 1917 件 | 524 件 |
| 呉警察署 | 57 件 | 23 件 |

広島県下だと全体の約3割、呉警察署管内だと全体の約4割を占めます。

2 交通事故防止対策

令和6年中の交通死亡事故の割合ですが、歩行者死亡者数28人に対し、高齢者の割合は**19人**となり高齢者の死亡事故の割合が高い傾向にありました。交通死亡事故防止のため、歩行者の方は以下の点について気を付けましょう

- ① 夕暮れ時や夜間に、LEDライトや反射材を活用することで通行する車両に自分の存在をアピールしましょう。
- ② 道路を横断する際は斜め横断はやめ、横断歩道を通い横断しましょう。
- ③ 自宅付近(500m以内)を歩いているときに交通事故に遭い亡くなる事故が多く発生しています。よく知っている自宅の近くの道こそ、注意して歩きましょう。

「運転に不安を感じる」「最近車のキズが増えてきた」等といったことはないでしょうか？
これからも安全に暮らすために、今こそ“運転卒業”という選択を視野に入れて、今後の免許の持ち方を家族と話しあってみましょう。



呉警察署管内・交通事故発生状況

| | 令和7年 | 令和6年 | 対前年比 | |
|---------|------|------|------|--------|
| 人傷事故(件) | 57 | 83 | -26 | -21.0% |
| 死者(人) | 1 | 0 | 0 | —% |
| 負傷者(人) | 63 | 93 | -30 | -32.4% |

※令和7年6月末現在の統計数値です